

会議の概要

会議の名称	第6回玉村町都市計画マスタープラン策定委員会
開催日時	平成24年2月13日(月) 午前10時00分
開催場所	玉村町役場4階全員協議会室
出席委員	中村委員・本多委員・齊藤委員・蛭川委員・菅谷委員・大島委員 村木委員
欠席委員	新井委員・深澤委員
町側出席者	経営企画課・経済産業課・生活環境安全課・上下水道課 事務局：都市建設課 委託会社：アジア航測株式会社
会議の議題	(1) パブリックコメント実施結果について (2) 玉村町都市計画マスタープラン(案)について (3) 今後の予定について (4) その他
会議録の作成方法	要点記録

## 主な発言（検討）内容

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 資料の確認

### 4 議事

#### (1) パブリックコメントの実施結果について

事務局：(資料に基づきパブリックコメントについて町の考え方の説明を行った)

中村委員長：パブリックコメントの実施結果と対応についてご意見・ご質問がありましたらお願いします。

※意見・質問なし

#### (2) 玉村町都市計画マスタープラン（案）について

事務局：(今までの資料を含みながら今回追加分の「まちづくりの実現に向けて」について説明を行った)

中村委員長：今回の玉村町都市計画マスタープラン（案）について何かご意見・ご質問のある方お願いします。

※意見・質問なし

中村委員長：今回は最後の委員会にあたり、事務局から策定委員会への参加に際してのコメントを書いてきていただくように宿題が出されていたと思うが、感想など一言ずつお願いしたいと思う。

それでは、私からお話しさせていただく。私は町民ではありませんが、すぐ近くの上武大学に勤めているということで、そのご縁で会に参加させていただきました。会に参加して改めて、この町が日光例幣使道の宿場という歴史と伝統をもった町であり、一方で、工業団地の醸成やスマートインターの建設などに代表される、さらなる発展のための恵まれた町であるということを実感した。近くに勤めていても町の中を歩く機会はなかなかなかったが、今回、個人的にも町の中を散策させていただき、新しい発見をすることができた。

本多委員：1年間策定委員会に参加させていただき、これまで玉村町に住んで24年間、サラリーマンでいたので、ただなんとなく過ごしてきたが、こういった立場になって、地域に入って住民の声や要望を聞くと、町はまだ発展途上にあり、高い目標をもって改善していく価値のある町だと感じた。また、下新田の354号線や玉村八幡宮などの歴史的な文化財など全国的に広めていけるような観光資源もある町だと思う。この1年間でそ



ういったものを見る目を培うことができた。生きている限りこの地域を見つめ、住みよい安心できる町に感謝しつつ暮らしていきたいと思う。

蛭川副委員長：私は子どものころに玉村町にいて、そのあと、引っ越して、今は上飯島に戻ってきた。まちづくりに参加させていただき、玉村町にとって何が大事か考えてみたが、第一には今住んでいる人や企業がずっとこの場所にいられるようにすること。また、外に出た子供たちが帰りたくなるようなふるさとであること。第二に町外の人に来たくなるような町にすること。日本全国で、人口減少が問題となっているが、いかに流出を止めるかが大事になってきている。これからのまちづくりのために第一、第二の順で考え、いいものを発信していけば、素晴らしい町になると思う。玉村町は小さな町だが、小さな部分にも目が届く良さがあると思う。他地域を見ると、合併により小さな部分に目がいかなくなってしまったケースも見られる。策定委員会に参加して、私自身も勉強になった。ありがとうございました。

大島委員：東毛広域幹線道路が玉村町の中心部を東西に突き抜け、このマスタープランにおいても中心的な役割を担っているということが分かった。私はこの道路の担当者として、改めて広幹道の重要性を感じ、一日も早く完成させ、皆さんに喜んでもらいたいと感じた。

齊藤委員：私は農業の立場から総合計画とマスタープランと両方に参加させていただいた。先ほど、パブリックコメントで都市計画道路の全面廃止という意見が出ていたが、都市計画道路に指定されると規制などで、土地の評価が下がってしまう一方で、都市計画道路ができることを見越してそちらに移っている人もいるので、一概に廃止は難しい問題と思う。プランというものはなかなか大変だと感じるが、慎重にやってもらいたいと思う。私は農業委員の立場から、優良農地の確保をお願いしたいと思う。今回開発で、農地がつぶれた部分があるが、開発はぜひ慎重に、そして協働にふさわしく住みよいまちづくりをやってほしいと思う。

村木委員：事前に渡されたマスタープランを読んで、最初に自転車利用に対する取組みが書かれてあり、高齢化の中で、年寄りには自転車は難しいのではないかと感じたが、たまりん等の交通の整備も行うと書かれていたので納得した。また、日常の買い物は町のなかで、そのほかの買物については町の外へという状況の中で、それに対する足をどのようにするのか今後見ていきたいと思う。スマートインターの活用ということが書かれているが、バスは高崎駅に東口のヤマダ電機の下に8月ごろ高速バスのターミナルができるが、高崎市は駅とスマートインターの高速道路をつないで、一つの連携を図っていきたいと考えているようだ。鉄道とバスだけではそれほど活用に至らないので、高崎駅とスマートインターをつなぎ、スマートインター周辺に駐車場整備をするなど、マイカーでも利用できるような活用はできないものかを感じる。

菅谷委員：都市計画マスタープランの委員に参加して、私自身も勉強になった。魅

力のある町というのはそれだけで人が集まってくると思う。私は明日からパリに行く予定なのだが、パリはだれが見ても魅力のある町ではないかと思う。そこには都市計画で高い建物は建ててはいけない、派手な看板は立ててはいけない等の規制も伴っている。そういった町全体の協力のもとに魅力ある町ができるものだと思う。

貫井町長よりあいさつ

『昨年よりマスタープランの策定にご参加いただき、ありがとうございました。今年度より第5次総合計画がスタートしているところです。玉村町はこれから変化が予想されます。そんな中で、マスタープランを作成していますが、町としても慎重に取り扱っていきたいと思います。いままで皆様がいるいろと知恵を出してくださいましたことが姿として玉村町に現れてくることになると思います。委員はこれで終了となりますが、今後も町に対してご意見をどしどしいただき、住民にとって住みよいまちづくりをしていっていただきたいと思います。2年間ありがとうございました。』



### (3) 今後の予定について

事 務 局：(下記の内容について説明を行った)

- ・ 2月13日委員会終了
- ・ 2月下旬 委員長から町長に都市計画マスタープラン(案)を提案
- ・ 3月 都市計画審議会(諮問・答申)
- ・ 3月下旬 都市計画マスタープラン策定
- ・ 4月以降 広報でお知らせ
- ・ 6月以降 印刷(その後、各委員に配布)

中 村 委 員 長：それでは議事についてはこのくらいにしたいと思う。議事進行について事務局へお返りする。

事 務 局：中村委員長、どうもありがとうございました。委員の皆様におかれましては、本日もお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。策定委員会としてはこれですべて終了となるが、今後もまちづくりのご協力をよろしく願います。お時間のある人は、議場をご案内したいと思う。

## 5 閉会

---

※ 閉会后議場を自由見学し解散